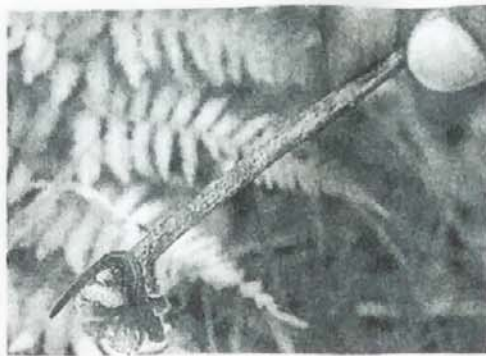


県立金足農高(秋田市)の女子生徒らが開発した吸血ヤマビルよけスプレー「ダウンヒル」が商品化された。開発に携わり、現在は県立大生物資源科学部3年に在籍する加藤愛咲さん(21)らが16日、県庁を訪れ、効果などを説明した。



農、林業従事者らを脅かす吸血のヤマビル。気温、湿度が上昇すると、山間部でよく見られる

を好み、人の血を吸つ。気温、湿度が高くなる5〜10月頃に山間部でよく見られるという。血を吸われると、出血が止まりにくく、かゆみや腫れの症状を引き起こすため、農林業従事者やキャンプ、ハイキング客らを悩ませている。

県の2013年度の調査では、ヤマビルは秋田、潟上、五城目、井川、上小阿仁の5市町村計2万1625羽に生息。生息面積は、10年前より2割近く広がった。ヤマビルが付着したカモシカやタヌキなどの野生動物が人里に降り

吸血ヤマビル これでダウン

できている影響で、住宅地にも生息域を広げつつあるという。

加藤さんは同高1年だった2009年、同級生3人と、教諭だった総合研究大学院大学(神奈川県)助教の田中大介さん(38)の指導の下、研究を始め、13年3月に特許を取得。田中さんが県秋田地域振



ヤマビルよけスプレーを開発した加藤さん(右)と、商品化を担当した中田さん(県庁で)

金足農高OG 嫌がるスプレー商品化 加藤さんら

興局から紹介を受けた香水専門店「パレアンヌ」(秋田市泉北)が商品化を担当した。ダウンヒルはスプレータイプで、入山前に靴やズボンなどに吹き付けると、ヤマビルが嫌がり、はい上がって来ない。ヤマビルが冷たさ、温かさといった刺激に敏感な性質を利用し、清涼感のある「L-メントール」と効果を増幅するサリチル酸の一種を配合、ミント系の爽やかな香りに仕上げた。一本(50g・2本)で約400回スプレーできるという。

ダウンヒルは6月1日から1350円(税込み)で販売し、店頭やホームページで購入できる。加藤さんは「里山の農家やハイキング客、山菜採りの人など、多くの人に使ってほしい」、パレアンヌの中田邦子代表(51)は「将来的には全国に販路を拡大できれば」と話している。

秋田

秋田支局
(〒010-0951)
秋田市山王6-2-1
電話 018-824-2211
Fax 824-2210
メールはakita@yomiuri.comへ

大仙支局
(〒014-0047)
大仙市大曲須和町
2-1-58
電話 0187-63-0377
Fax 63-0370
通信部
大館0186-42-8011
能代0185-52-2534
由利本荘
018-824-2211

ニュースや話題、写真などの提供は支局、通信部へ

【購読、配達】

- 県読売会 863-6693
- | | |
|-------|----------|
| 秋田東部 | 833-6466 |
| 西部 | 824-1625 |
| 南部 | 893-4311 |
| 新屋 | 896-7121 |
| 土崎・迫分 | 845-3844 |
| 花輪 | 23-2375 |
| 大館 | 42-5439 |
| 大館駅前 | 43-1581 |
| 北秋田 | 62-5095 |
| 能代 | 52-5321 |
| 本荘 | 22-0366 |
| 大曲 | 62-1896 |
| 横手 | 32-2778 |
| 湯沢 | 72-1205 |
- 広告 862-4594
読売旅行 837-1143
折込みは
読売IS 888-8555

